

国立国語研究所リサーチアシスタント取扱規程

平成21年10月 1日

国語研規程第40号

改正 平成22年10月20日

改正 平成23年 2月 9日

改正 平成24年 4月20日

改正 平成28年 7月27日

改正 令和 3年10月14日

改正 令和 6年 1月17日

(趣旨)

第1条 この規程は、人間文化研究機構リサーチアシスタント取扱規程（人間文化研究機構規程第76号）第8条の規定に基づき、国立国語研究所（以下「研究所」という。）におけるリサーチアシスタント（以下「RA」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(選考等)

第2条 RAの選考は、別紙様式1の雇用計画書及び別紙様式2の個人調書によりプロジェクトリーダーが推薦した者のうちから、所長が行う。

(雇用期間)

第3条 RAの雇用期間は、一事業年度の範囲内とし、通算して3年を限度として雇用することができる。

(基本給)

第4条 RAの基本給の額は、別表に掲げる額とする。

(施設等の利用)

第5条 RAは、当該プロジェクト遂行のために、研究所の施設、設備及び文献等を利用することができる。

(研究成果報告)

第6条 RAは、雇用期間終了時に、プロジェクトリーダーを通じて、別紙様式3の研究成果報告書を所長に提出しなければならない。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、RAの受入れに関し必要な事項は、所長が別に定める。

附 則

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年10月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月20日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成28年7月27日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年10月14日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和6年1月17日から施行し、施行日の前日に雇用されている者については、令和5年4月1日から適用する。

別 表

時間給	1,520円
-----	--------

国立国語研究所長 殿

(プロジェクトリーダー)

職 名

氏 名

年度リサーチアシスタント (R A) 雇用計画書

下記のとおり推薦します。

1	研究プロジェクト等の名称			
2	R A 受入担当者名			
3	R A の 必 要 理 由			
4	研 究 の 概 要			
5	業 務 の 内 容			
6	雇 用 期 間	年 月 日 ~	年 月 日	
7	勤 務 時 間	時間/週 ×	週	延 時間
8	大学院生氏名 (性別)			(男 ・ 女)
9	生 年 月 日	年 月 日生	(歳)	
10	専門分野・研究テーマ	専門分野 (特に に関する研究)		
11	課程の教育において指導を受けている主たる教員の氏名	研究科・専攻名	大学	研究科 専攻
		職 ・ 氏 名		
12	そ の 他			

※ 裏面【記入要領等】を参照のうえ、記入すること。

別紙様式1（第2条関係）

【記入要領等】

- (1) 「RA受入担当者名」欄には、RAが従事する研究プロジェクト等において、RAに指導・助言を行う主な研究教育職員等の氏名を記入して下さい。
- (2) 「研究の概要」欄には、RAが従事する研究プロジェクト等の具体的な内容を簡明に記入して下さい。
- (3) 「業務の内容」欄には、RAが行う業務の具体的内容について、簡明に記入して下さい。
- (4) RA一人当たりの雇用時間は、週20時間程度を上限とし、年間200時間以上400時間以内が標準となります。
- (5) 「8～12」の欄は、前年度から継続して雇用を予定している場合など、雇用予定者が決まっている場合に記入して下さい。なお、雇用対象者は大学院博士後期課程在学者となりますが、通常の研究指導、事業等に支障が生じないよう配慮願います。
- (6) 「その他」欄には、雇用予定者に対する各種支援状況（授業料の減免状況、奨学金の貸与状況、日本学術振興会の特別研究員への採用状況）について、簡明に記入して下さい。
また、国立国語研究所を含む、他の人間文化研究機構の機関において給与・謝金を受け取っている場合は、その時間数や名称等について、必ず本人に確認し、記入して下さい。

年 月 日

国立国語研究所長 殿

(プロジェクトリーダー)

職 名

氏 名

年度リサーチアシスタント（RA）研究成果報告書

国立国語研究所リサーチアシスタント取扱規程により，下記のとおり研究成果を報告します。

記

RA氏名			
RA所属研究科 専攻・学年	研究科	専攻	学年
専門分野・研究テーマ	専門分野 (特に に関する研究)		
研究プロジェクト等名称			
RA受入担当者名			
補助業務の内容			
雇用期間	年 月 日～ 年 月 日	勤務時間計	時間
RAを雇用したことにより得られた成果 (受入担当者記載箇所)			
RAに雇用されたことにより得られた成果 (RA記載箇所)			

※ 裏面【記入要領】を参照のうえ，記入すること。

別紙様式3（第5条関係）

【記入要領】

- (1) 「R Aを雇用したことにより得られた成果」欄には、受入担当者が、R Aを採用したことにより得られた当該研究プロジェクト等遂行上の成果を具体的かつ簡明に記入すること。
- (2) 「R Aに雇用されたことにより得られた成果」欄には、R A自身が、R Aとして従事し研究補助業務を行ったことによる成果等を具体的かつ簡明に記入すること。